

YAMAHA

2サイクルスポーツ

PURE SPORTS

SDR



世の中には不必要なものが多すぎる。
だから、いちど原点に帰ってみよう。
SDRの出発点はここにありました。
日本のモーターサイクルは、
また新しいシーンへ。





ANDY WARHOL

GALERIE BORJESON
HAMNGATAN 4, 211 22 MALMÖ SWEDEN
DECEMBER 3-23, 1983



できあいの基準は通用しないかも知れない。SDR。

いつの時代にも主流がある。多くの人が憧れるコト、多くの人が欲しがるモノ、多くの人が認める常識。それが、その時代の主流になる。自分を安心させる材料になる。いいわけの理由になる。でも、できあいの基準だけを頼りにしているなんて、つまらない。流行に振りまわされず、飾りに目を奪われることなく、自分らしさを貫いていくことのほうを大切にしたい。そんな人々のために、モーターサイクルは何をすべきか。ヤマハから、まったく新しい2ストローク・ピュアスポーツSDR、デビュー。腕があるほど楽しめる200cc.2ストローク・シングル。常用域の太いトルクと鋭いレスポンス。従来の常識にはなかったTCメッキ[※]・トラスフレーム。走りの実質機能を追求した、ライト&スリム&コンパクトな車体。そして、タンデム・ライディングを拒否するシングルシート。それは、少数の「知る人」のために存在する、新しいマシンの姿。SDRに、できあいの基準は多分通用しない。多くの人の共感も得られないかも知れない。それでいい。それがSDR。

※TC (Triplex Composite) メッキ: Ni (ニッケル)、Sn (スズ)、Co (コバルト) の3元素を用いたメッキ方法。美しい光沢とすぐれた耐蝕性が特長です。



新開発2ストローク・シングル。 街でも、反射神経の鋭さは隠しきれない。

**YZRの系譜。クランク室リードバルブ採用。
新開発水冷2ストローク・シングル**

パワーユニットは、新開発の水冷2ストローク・シングル200cc。最高出力34ps/9,000rpm、最大トルク2.8kg-m/8,000rpmのハイパフォーマンスとともに、常用域でのパワフルさをもたらすテクノロジーのひとつが、クランク室リードバルブ。リードバルブを持つ吸気ポートがクランク室側にあるため、クランク室が負圧になると、ピストン位置に拘らず吸入行程が即座にはじまり、吸気効率はきわめて高い。しかも、リードバルブは樹脂製。その追随性のよさが、クイックレスポンスをさらに鋭いものとしている。

Y.P.V.S.(ヤマハ・パワー・バルブ・システム)
そしてY.P.V.S.運動型オートループポンプ搭載エンジン回転数信号をマイコン内蔵のコントロールユニットが検知し、排気ポートに設けたつづみ型のパワーバルブをサーボモーターで駆動する、ヤマハ独創のY.P.V.S.を搭載。つねに適切な排気コントロールを維持し、全域でクイックレスポンスと豊かなトルクを発揮する。また、Y.P.V.S.に連動したオートループポンプによって、オイル吐出ストロークをスロットル開度とエンジン回転数の両方に対応。急激なスロットルワークにも、適切なオイル供給を実現する。

Y.E.I.S.(ヤマハ・エナジー・インダクション・システム)

Y.E.I.S.は、吸気管の途中にチャンバーを設けることによって、リードバルブの開閉に伴って生じる混合気の断続的な流れをスムーズで均一なものにして吸気効率を高める機構。低・中速域のパワー&トルクの向上とともに、58km/h(50km/h定地走行テスト・運輸省届出値)という低燃費実現にも大きく貢献している。

フラットバルブキャブレター

キャブレターは、板状のスロットルバルブを持つコンパクトなフラットバルブタイプ。ベンチュリー部が薄いので、スロー系とメイン系の近接化と圧力変化の集中が可能となり、すぐれたクイックレスポンスを実現している。しかも、バルブとキャブレター本体の接触面積が小さい分、摩擦抵抗が軽減され、スロットルワークをさらに軽くスムーズなものとしている。

フレーム一体型アルミ製エアクリーナーボックス

トラスフレーム後端のサイドカバーのように見える部分が、実は、SDR独創のフレーム一体型アルミ製エアクリーナーボックス。エアクリーナーの大容量化とともに、フラットバルブタイプ・キャブレターとのストレートな吸気通路レイアウトを実現している。また、フレーム一体構造の堅固なアルミ鋳造ボックスが、トラスフレームのよりいっそうの剛性アップに大きく貢献している。

多段膨張タイプ・チャンバー型マフラー

クランク室リードバルブのメリットをさらに高める排気脈動を獲得する新開発マフラー。また、独特のラセン形状により、マフラーのウエイトをマシンセンター部に集中。マスの集中化を促進している。

トラスフレーム。それは、 見る者の目を奪い、ライダーの心を奪う。

高剛性・軽量フレームの新しい形、トラスフレーム

SDRの特長なフィーチャーの中でも異彩を放つ、TCメッキトラスフレーム。ステアリングヘッド部からリヤスイングアームのピボット部へストレートに伸びるフレーム構成としたうえで、フレーム自体に斬新なトラス構造を採用。高剛性の確保とともに、マシン全体の軽量化(乾燥重量105kg)にも大きく貢献している。しかも、フレーム一体型の堅固なアルミ製エアクリナーボックス(サイドカバーのように見える部分)などの採用によって、トラスフレームならではの高剛性をさらに強化。シャープで安定したハンドリング感覚を支えている。

トラスリヤアーム採用、

リンク式モノクロスサスペンション

リヤは、すぐれた路面追随性を確保するヤマハ独自のリンク式モノクロスサスペンション。リヤアームは高剛性で軽いトラス構造。かつてない鮮やかな個性だ。また、初期荷重が調整できるイニシャルアジャスターも装備している。フロントフォークは、摺動部にDuメタルを採用し、的確でスムーズな応答性を実現している。

前後に17インチタイヤ+

中空スポークアルミキャストホイール

確かな路面グリップ力を発揮するタイヤは、前: 90/80-17 46S、後: 110/80-17 57S。パネ下重量の軽減に大きく寄与する軽量中空スポークアルミキャストホイール、フレームやサスペンション設定などとの絶妙なマッチングによって、SDRのすぐれた操縦性を支えている。

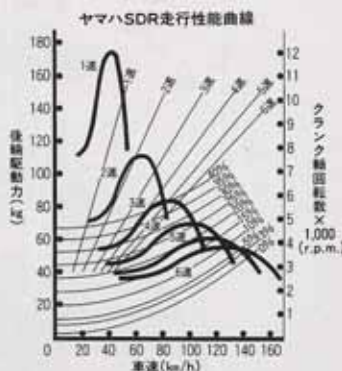
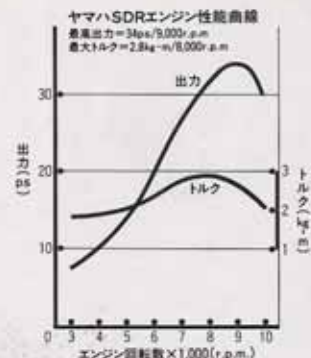
ムダを排し機能に徹したSDRフィーチャー

●ハードなライディングにも確かな制動力を発揮する前φ267・後φ210のディスクブレーキ ●ソロ・ライディングに徹する機能的で美しいシングルシート(シート高770mm) ●読み取りやすくシンプルなデザインの大径スピードメーター&インジケーターランプ ●アルミ製セパレートハンドル/ハンドルクラウン/フートレスト/エアブレーンタイプタンクキャップ





SDR仕様表	
機種コード	2TV
全長/全幅/全高	1,945mm/660mm/1,005mm
軸間距離	1,335mm
シート高/最低地上高	770mm/160mm
乾重量	105kg
燃費・定地走行テスト値	58.0km/l (50km/h)
最小回転半径	2.6m
制動停止距離	14.0m (50km/h)
エンジン種類	2サイクル・空冷・4バルブ・DOHC
気筒数/配列/総排気量	単気筒/195cc
内径×行程	66.0mm×57.0mm
圧縮比	5.9:1
最高出力	34ps/9,000r.p.m.
最大トルク	2.8kg-m/8,000r.p.m.
始動方式	キック式
点火方式	CDI
燃料タンク容量	9.5ℓ
オイルタンク容量	0.9ℓ
潤滑方式	分離潤滑式
バッテリー容量/型式	12V3Ah(10hr)/GM3-3B
1次減速機構/減速比	ギヤ/2.833(51/18)
2次減速機構/減速比	チェーン/2.687(43/16)
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	リターン式6段
変速比	2.833/1.812/1.368 1.142/1.000/0.916
フレーム形式	鋼管ダブルクレードル
キャスト/トレール	25.30/91mm
タイヤサイズ・前/後	80/80-17 46S 110/80-17 51S
制動装置・前	油圧式ディスクブレーキ
制動装置・後	油圧式ディスクブレーキ



● 数値は定められた試験条件のもとでの値です。現行走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。
● 本仕様は予告なく変更することがあります。● 仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。
● ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。

SDR ●標準現金価格 ¥379,000 (北海道、沖縄および一部離島を除く)
●メルティンググリーン
●アップルレッド

単位(mm)



手続が簡単
支払いがらく
ヤマハ
らくらくクレジット

新しいバイクの買い方です。現金なし。簡単な手続きでお好みのバイクが、あなたのものに。お支払いは、3回から最高36回までの分割払い(月々のお支払いは、3,000円から)。あるいはボーナス一括払い、ボーナス2回払いなど、ご希望にあわせて融通の利くコースから自由に選べる便利です。ヤマハらくらくクレジットは、お近くのヤマハ販売店でおたずねください。



クローズドコースでの「マン・マシン・コミュニケーション」の経験が、一般道路での安全で快適な走行を生み出します。お問合せ、お申込みは、このマークのヤマハスポーツ店へ。
ヤマハライディングスクール(YRS)サーキットランに参加しませんか。



●Y.E.S.S. (イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。モーターサイクルがプレゼントしてくれる限りなく大きな遊びの世界を、もっと積極的に楽しもうと生まれた新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申込み、お問合せは、Y.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店へどうぞ。
バイクライフを大きく広げるY.E.S.S.に、参加しませんか。

YSP 駒沢

YAMAHA SPORTS PLAZA
〒154 東京都世田谷区駒沢2-11-5
電話 03-418-2560 番

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

■ヘルメットを正しくかぶりましょう。■点検・整備を忘れずに。■安全のため、改造はやめましょう。■騒音防止のため不必要なからぶかしはつつしみましょう。

安全速度で走りましょう。無理な追い越しはやめましょう。カーブではスピードをひかめめに、よく見ろよく聞かれることに努めましょう。早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を。競技用に改造した車両での公道走行はできません。YRSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県豊田市新井2500
8706-5011(3)・013008